

平成29年度 《第7号》

# 貞香会 会報



*2017 TEIKOKAI Annual Report*

## 書作への想い



会長 赤平泰処

今年のお正月は例年のように、銀座、上野を中心に書道展を回った。多くの先生方の新年に向けての意欲が伝わり、どこことなく華やかで厳肅な気持ちにさせてくれた。書は事始に相応しいという感を強く思った。

作品を見て、その先生の健在振りが伺えるのは楽しいもので、反対にどうしたのかと心配になる作もある。「書は人なり」で本当にその人の気持ち、様子を表している。作者とあまり親しくないのに、作品を見て思わず挨拶したり、一人で会話をしたりする。その一時が貴重で展覧会を回る。前の会場で会った人に、次の会場でも会うことがある。同じように回っていることがまた楽しく、あの人も勉強しているなあ、と思いつつ何となく会釈を交わす。書道大好き人間のお正月風景である。

「書は目習い」目を肥やすことの大切さはよく言われる。その人の書の水準は、高い鑑賞眼を持っているかどうかで決まってくるし、書の今を知るには、如何に多くの展覧会を見るかが重要なことで、自らの書と妥協しては進歩はない。広い視野を持つ習慣を身につけたい。自分の書の実力はどの辺りなのかと思ったら、展覧会に足を運ぶことで理解、解消される。本会会員に欠けているのは残念ながらこの点だと思う。

今、開催されている呉昌碩展（東京国立博物館・台東区立書道博物館など、三月四日まで）を見学したでしょうか、本会が、書の理想と掲げる、新文人主義、硬質の書の重要なヒントを示唆してくれている。

公募展での成績が上がってこない一つの理由は、鑑賞眼の欠如とコミュニケーション不足にある。他から学ぼうとしない狭い考えを捨て、自らの書を創造するための実践をして見てください。一人一人の書生活の充実が、会の輝かしい発展、継続となる。奮い立つばかりの書作品の発表と、怠惰を嫌う精進の世界。清新な貞香会を目指したいものである。

# 切磋琢磨



理事長 中村 青 藍

感動、興奮、涙に明け暮れた平昌冬季オリンピックが終わ

りました。日本選手の輝かしい活躍に感動と興奮の連続でした。以前のような日の丸を背負って競う姿は影を潜め、今や究極の滑りに芸術的な美しさを感じます。その根底には限界にいどみ続ける努力があり、課題を徹底的に洗い流し一つ一つをつぶしていけば不可能はないと、また楽しかったともメダリスト達は述べています。敵は自分だと小平奈緒選手は述べていました。まさに、切磋琢磨をして立派なものにする心はすべてに通じることかと思えます。

一方、貴乃花親方は大相撲は孤独だと、横綱は包容力だとテレビで述べています。何か書も同じだなあと感じます。書の制作は孤独の状態ですが、作品を見る包容力の豊かさも必

要です。書を楽しむ心、努力を重ねることで生命の躍動と歓喜が生まれることがあります。

貞香会の皆さんは貞香書展などで作品を拝見するたびに良く勉強されているなど、他の会の先生方のご意見もいただいています。

今年には記念の節目の年であります。第60回記念東方書展が3月25日から東京都美術館で開催されます。又、第70回記念毎日書道展が7月11日から国立新美術館と東京都美術館で開催されます。今年には赤平泰処先生が陳列部長に、中村素岳先生が運営委員に就任されます。

また当会主催の「18貞香会総合書展」の出品点数は765点、前年比で1点増に幸先の良いスタートが切れました。第53回貞香書展を、6月27日から国立新美術館で開催します。これから東方書展、貞香書展、毎日書道展へと休みなく続きますので、くれぐれも体調面に気をつけて夏場を乗り切り切磋琢磨されますことをご祈念申し上げます。

# 平成二十九年 貞香会総会報告

## ◎平成二十九年 定期総会報告

平成二十九年定期総会は、一月十九日（木）午後三時から、東京都美術館講堂において開催されました。総会には顧問の中村素岳先生、参与の大野宜白先生、中谷春径先生、松本宜響先生、若井香樹先生のご臨席のもと、二十七名の会員の出席をもって開催となりました。

総会は、鈴木蓮徑理事の司会で進められ、開会のことばを奥山泰嶺副理事長が行い、中村青藍理事長が挨拶をされた。本日の総会は、赤平泰処会長がインフルエンザのため欠席との報告をされ、今年は貞香会が創立九十五年を迎えるため、新たな気持ちで貞香書展に向けて、多くの会員の皆様のご協力をお願いしたい。明日の貞香会へ向かって、本日の総会の議題についてご審議をお願いしたいとの、旨を述べられました。

次に委任状の確認を司会より報告があり、会員数二四七名の内、総会出席者二十七名、委任状提出者一四八名、合計一七五名になり、総会が成立いたしますと報告がありました。議長には大野宜白参与が選任され議事に入りました。

先ず、第一号議案の平成二十八年度事業報告が根本泰邱事務局長より、第二号議案の平成二十八年度決算報告が後上菁華理事よりあり、その後、会計監査報告が亀和田郁芳監事よりあり、一括承認されました。

次に、第三号議案の会則の改正について根本事務局長より説明がありました。改正箇所については、平成二十九年定期総会資料にも記載がありますが、大きな改正としては、事務所の移転に伴い住所変更、今年度より新たに参事の新設、役員の名称変更、役員の定年引き上げ等があり、審議され一括承認されました。

また、第五号議案の平成二十九年定期事業計画案が根本事務局長より説明され承認されました。

続いて第四号議案の役員改選について案が提示され承認、最後に第六号

議案の平成二十九年定期予算案が後上理事より提案され一括承認されました。その他の議事については、平成二十九年より錬成会の他、錬成合宿を予定していると根本事務局長より提案があり承認、他の議事特になく、大野議長が拍手の中、議事が終了したことを宣しました。

最後に、奥山泰嶺副理事長の閉会のことばで締めくくられ、総会が無事終了いたしました。

これにつづく懇親会は、七十名程の参加で盛況でありました。その会場で、総合書展で受賞された方々が喜びのコメントを述べ、また第六十九回毎日書道展の審査員は荒木大樹顧問が務めることが発表され、盛会のうちに滞りなく終了いたしました。

### 【平成二十九・三十年役員名】

〔顧問〕	荒木大樹	中村素岳	長谷川耕心
〔参与〕	大野宜白	中谷春径	晝間欽堂
	室生大韻	八木舜堂	若井香樹
	柏木南城	加茂泰玄	中村大如
	平林大舒	二木秀蔭	山根紅樹
〔参事〕			中村東泉
	赤平泰処		
〔会長〕	中村青藍		
〔理事長〕	奥山泰嶺	光谷素仙	
〔副理事長〕	根本泰邱		
〔理事・事務局長〕	☆飯野彩心	今井泰篁	金子正信
	☆小峰紀州	鈴木蓮徑	☆高木素近
	☆坪内雪山	☆富田青軒	☆中村香柯
	☆杉戸泰岳	☆長尾泰邨	☆三浦看山

☆印：新任



長尾泰邨先生 代表出品

1月4日～15日  
東京都美術館

東京都美術館では、毎日書道会、読売書法会、産経国際書会に属し、関東に拠点を置く公募団体から18団体を選定し、その団体から代表として選ばれた次代を担う気鋭作家・38名による大作展を主催。  
2017年は5回目の開催で、貞香会より長尾泰邨先生が出品。幅10mの壁面に大作を発表した。

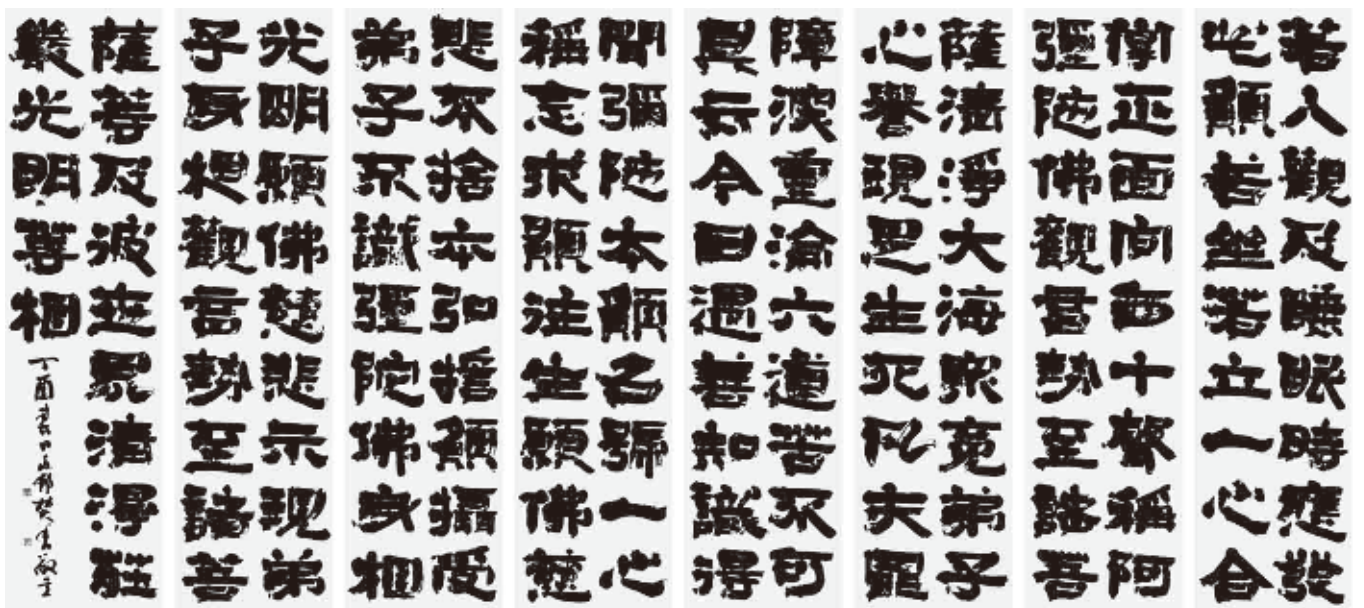


また、この展覧会では、会期中3日間にわたり、各会派の代表作家によるアーティスト・トークが行われ、長尾泰邨先生は1月7日(土)午後に担当・解説された。自らの作品の前にて、制作の経緯・使用する紙の大きさや書体、文字数、積文の選定など次々とぶつかる壁に対し、師匠である赤平泰処先生の指導や西蓮会同門諸氏の協力を得て、一つ一つ乗り越えながらの書作であったと、郷里の方言「津軽弁」を交えながらユーモラスに語った。

また、紙を繋ぎ合せての使用が初めてであったことや、墨の準備、作品全体の統一感などに苦労した点をあげた。そして最後を、今回このような大作に挑戦する機会をいただけたことへの感謝の言葉で結ばれた。

今年も大作展とアーティスト・トークとも、大勢の方々が来場し好評を博した。

最後に、青森から応援にかけてくれた長尾さんのお子さん達と記念撮影。家族の協力なくして、この大作展はできないと感じた。



# '17 貞香会総合書展

1月19日～20日  
東京都美術館

今年も貞香会総合書展（役員展 書範展）を開催した。出品数は、役員展に125点、書範展に642点、合わせて767点、昨年より全体で37点の減であった。

会期中の19日に貞香会総会、21日に席上揮毫会、22日に授賞式、懇親会がとり行われた。

今回の授賞式は講堂が使用できないため、展覽会場で行われたにもかかわらず、教育部、一般部合わせて百名以上の出席があり、盛会となった。

午前11時よりの教育部の授賞式では、中村青藍理事長が挨拶に立たれ、「皆さんは貞香会の金の卵です。高校生になっても是非、書が続けて」と語りかけた。審査長の長尾泰邨先生は「紙いっぱい元気よく大きく書いた作品が高評価」と講評された。

午後2時から是一般部の授賞式が行われ、会長の赤平泰処先生が挨拶に立たれ、「6月の貞香書展にも大いに出品して下さい」と呼びかけた。審査長の小峰紀州先生は講評の中で「鑑別時間は一点当り10秒と短い。インパクトのある作品（行の中心が通っている、余白とのバランス、線が練れている等）が高い評価を得る」と作品作りの秘訣を披露された。

今回の書範展出品は教育部こそ昨年比14点増だったが、全体では642点で昨年比35点の減であった。次回展は今まで参加されておられない方々にも是非出品していただきたく、お願い致します。



一般部授賞式



教育部受賞者の皆さん



小峰紀州先生審査講評（一般部）



長尾泰邨先生審査講評（教育部）



17 貞香会総合書展 受賞者

師範部

貞香会会長賞

赤橋 雅静  
津田 雅代

専心社賞

宮田 奈摘  
高木 快道

特選

成田美和子  
加藤 岑翠  
五喜田幽石  
小林 如雪  
雜賀 誠芳  
佐藤 融雪  
根本 江南  
奥村 珠翠  
榎木 良裕  
越川 淑泉  
飛田 静風  
向後 佳溪  
土屋 秀樹  
志太 恵佳  
川端 正廣  
江藤 啓子  
田辺 由美  
根布谷順子  
加藤 伸幸

秀作

村山 順子  
長畑 裕子  
壺井 尚子  
青木 照美  
瀨下あかね  
入山 美幸  
上野 梨華  
渡辺 東  
和田由香利  
高木美恵子  
渡辺 蘇心

入選

若梅 照華  
山口真由美  
山口ひろみ  
牛村ひろみ  
瀧澤 理子  
前原 英子  
峯岸 悦子  
仲野 好重  
亀田 恵子  
荒井 美保  
橋本 和奏  
高野 創

特別賞

有馬 成子  
久米田 萌  
村田 良苑  
田杭 聡子  
山中 里沙  
北島 妃恵  
渡辺 雅子  
山口 恵子  
石川 高子  
国貞 史絵  
高橋英美子  
佐久間琴弓  
出口 哲  
宮村輝陽子  
杉浦 寛生  
野田真紀子  
高橋 美彩  
坂本 友香  
中島 采香  
根本 真弘  
伊藤 星

特別賞

尾畑 翼紗  
菅谷 和奏  
中山日菜子  
谷田貝美桜  
塩濱 花菜  
福田香朱美  
傳田 桃子  
須藤 美咲  
津末 悠乃  
水野 真歩  
宇敷 優花  
宮永 楓乃  
山内 開  
松本 和愛  
大澤 麗桜  
中島 澄香  
堀井 雅  
大橋 太陽  
福崎 優希  
栗栖ほのか  
鈴木 千夏  
加茂田真緒  
海老原耶々  
正木 紗奈  
鈴木 萌生  
山崎 百華  
鈴木 奏絵  
山口 李桜  
和田 悠里  
大塚 和都  
大嶋 杏菜  
川井 風太  
大塚可南子  
荒木 天花  
福崎 奈央  
鈴木 夕理

特別賞

神戶 沙也  
渡邊 陽奈  
滋野 綾菜  
大塚那津子  
原本 柚希  
田畑 華綾  
上野 穂香  
阿波部紗生  
村田 佳穂  
久保田千春  
廣重和花子  
山本 菜里  
金子 凌  
河村 優依  
岡崎 星  
石川 琴子  
奥備 愛  
田崎加寿紗  
乗上 綾香  
稲見 流音  
浅谷 颯来  
水野 藍花  
鈴木 春菜  
村上 由衣  
関口 結菜  
太田 彩月  
伏木 瑠奈  
野口 凜華  
上野 心優  
野間 美羽  
石井 花怜  
小鹿 温菜  
山本 菜緒  
鈴木みのり  
白石 花蓮  
小林 博香  
伊澤 暎奈  
川俣美咲希  
中野 優結

秀作

久米田 芽  
杉田 悠輔  
穂積 琥希  
重原 花凜  
塩濱 颯人  
伊澤 心  
手塚 孔星  
小松崎佑斗  
佐藤 光生  
足立 結子  
高 美羽音  
矢野 隆生  
金子千音星  
長谷川杏果  
山田 優弥  
平林 咲来  
古関 璃奈  
伊藤 太一  
桑原 廣雅  
早乙女晴姫  
山田 朝陽  
稲村 優芽  
板子 志奈  
早乙女真唯  
川井隆之介  
田上 愛瑠  
稲見茉莉衣  
渡邊 智香  
藤村 蘭佳  
望月 彩音  
佐藤 杏  
仁井名 樹  
小倉 巡  
齋藤 千紘  
石崎 暖大  
落合妃菜乃  
高坂菜奈子  
宮永 柚乃  
長田 夏美  
阿波部有姫

秀作

間宮 一期  
根本 悠香  
田崎 俐百  
佐藤 巨希  
松丸 鼓  
折原 まゆ  
平野 琴梨  
神通 蓮  
可知 和  
住谷 和美  
矢澤 右梗  
山本 裕貴  
織田 智秋  
清水 彩音  
丸山 実咲  
永吉 琴葉  
浅谷 珀虎  
川井 綾太  
稲見 俊星  
後藤 泰晟  
小鹿 心菜  
平林 愛来  
栗栖 拓人  
太田 怜  
板子 奏心  
塚本 真浩  
山田 海里  
桂川 真寿  
後藤 莉奈  
菊山 さら  
伊藤 結菜  
玉城 花織  
篠原 秀美  
櫻井 遥香  
山崎 龍星  
杉田 康輔  
北村 和実  
嶋口 睦美  
土屋 柚月  
荒木 岳道  
石井佳奈芽  
山田 陸駆  
若菜利里香  
菱沼 華  
大島 美咲  
早乙女姫菜  
菅谷 和希  
清水 健介  
鈴木 耀羽  
船田 和良  
江原穂乃佳

一般部

貞香会奨励賞

邊見 順子  
猪野 詩織  
今野 沙穂

書範社賞

林 玉凜

書範社賞

宮田 乙女  
中川 秀雲  
椎名 祥山  
萩原 柊花  
伊藤 泉映  
佐藤 誉仁  
村上 香苑

書範社賞

米川 知何  
宮田 寛子  
須藤 剛  
田口 和美  
室井 大輔  
井出 映泉  
久保木江邨  
大竹 空翠  
伊藤れいら  
西山 尚子  
鈴木 秀華  
池田万有子  
中島 剛  
仲井 照子  
大海 知磨  
松下 彩虹  
篠原 翠峰  
篠原 仁一  
今泉 伊代子  
今井 文子  
山本 恵翠  
新井 由香  
柿沼 陽和

書範社賞

須賀 絵美  
小島 美子  
本多登美雄  
石田 光子  
杉本 涉  
中村 幸史  
田窪 青蘭  
山口美津子

書範社賞

鶴見 侑樹  
小池 祥平  
伊藤 愛奈  
泉田 絢音  
上野 優羽

書範社賞

貞香会奨励賞

水 千湖  
太田 映壮  
和氣 遥花  
谷田貝莉子  
中野 優音

書範社賞

貞香会奨励賞

貞香会奨励賞

貞香会奨励賞

貞香会奨励賞

貞香会奨励賞

貞香会奨励賞

17 貞香会総合書展 選抜大作展

人間百歳善哉此篇五階頭  
 入耳難忘更秋時身中秋意道  
 三言不為意流俗暗通九曲折知了  
 隨到方名唱和言明也秋景上  
 揮筆一筆曾說定刻高顯直  
 是長和久征人淚秋流力乾

根本泰邱

※ 当選抜大作展に展示した  
 長尾泰邨先生の作品は、  
 P.4に掲載有り。

昔人已乘白鶴去  
 此地空餘黃髮老  
 黃鸝空啼花自落  
 西風千載吹空谷  
 思、法海高松、員孝  
 筆、題、題、題、題、題、題  
 貝、貝、貝、貝、貝、貝、貝  
 是使人想、

上野泰僊

春城送客早  
 花裝官亭酒  
 一香園騎青  
 利、利、利、利、利、利、利  
 橫、橫、橫、橫、橫、橫、橫  
 濟、濟、濟、濟、濟、濟、濟  
 後、後、後、後、後、後、後  
 獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨

清水 淡雲

宿坐幽竹管裏  
 彈琴復長嘯  
 深林人少  
 日暮相思

矢口昌華

銀城朝薰紫陌長  
 繁城警色曉蒼千  
 條弱柳垂青琪百  
 轉流鶯繞建章  
 佩擊鼙玉墀步衣  
 冠耳蒼御爐香共  
 沐恩波鳳池上朝  
 染翰侍君王

林 泰堂



# '17 貞香会総合書展

## 《ダイジエスト》

### ◎選抜大作展を併催

2017年度は、TOKYO書2017展示作品および各書展において輝かしい賞を受賞された方々による作品を展示、選抜大作展を併催した。

〔出品者〕

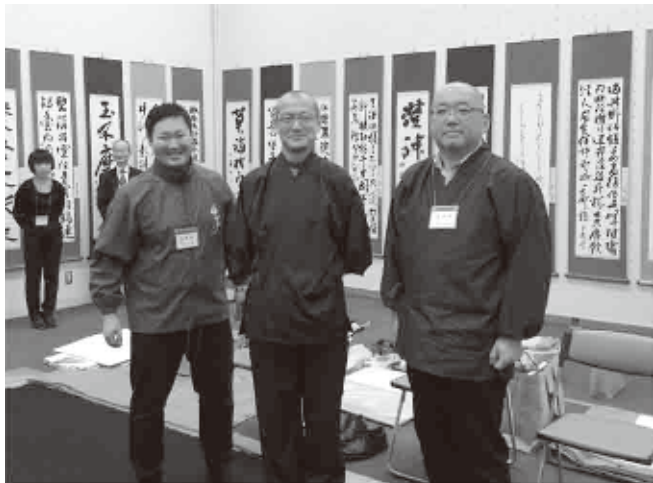
- 長尾 泰邨 (TOKYO書2017 代表出品)
- 根本 泰邨 (第68回毎日書道展 会員賞)
- 林 泰堂 (第68回毎日書道展 毎日賞)
- 上野 泰僊 (第59回東方書展 特別賞・同人推挙)
- 清水 淡雲 (第51回貞香書展 特別賞・同人推挙)
- 矢口 昌華 (第51回貞香書展 特別賞・同人推挙)

### ◎席上揮毫を開催

展示会場にて、1月21日(土)午前10時より根本泰邨先生、長尾泰邨先生、上野泰僊先生による席上揮毫を開催。多数の観客の前で、それぞれ先生方が筆裁きを披露、最後に解説をされて、皆さんの前で想いを伝えられた。

### ◎作品解説を実施

展示会場にて、1月21日(土)午後1時から、展示場内にて大作展出品者による作品解説を行った。



席上揮毫の根本泰邨先生

### ◎会友昇格者

- 今泉伊代子 江藤 啓子
- 向後 佳溪 志太 恵佳
- 広田 瑣葉

### ◎鑑別会員昇格者

- 荒井 谿水 五十嵐千佳
- 池田 翠雨 鈴木 英男
- 津田 雅代 渡辺 萌苑

2017年度、規定により左記の方が昇格しました。おめでとうございます。



席上揮毫の上野泰僊先生



席上揮毫の長尾泰邨先生

## 東方書展

※平成29年（2017年）度の開催はありませんでしたので、第60回記念展の案内を掲載いたします。

### 【第60回記念東方書展】

#### 開催要項

##### ◇会期

平成30年3月25日（日）～31日（土）

##### ◇会場

東京都美術館  
2階 第1・2・3展示室

##### ◇第60回記念【特別展示】東方書道院「先達の書」

記念展を迎え、東方書道院創設に携わった先生方の作品を一堂に展覧し、記念図録も作成されます。  
本会から中村素堂先生、古澤素雨先生、佐藤中処先生の作品が展示されます。

##### ◇入場無料

##### ◇授賞式

日程.. 平成30年3月25日（日）14時～

会場.. 帝国ホテル「孔雀の間」

##### ◇特別講演会

日程.. 平成30年3月25日（日）16時～

会場.. 帝国ホテル「孔雀の間」

講師.. 田宮文平先生（美術評論家）

演題.. 東方創設の理念と先達の書

―第60回記念によせて―

##### ◇祝賀懇親会

日程.. 平成30年3月25日（日）17時30分開宴

会場.. 帝国ホテル「孔雀の間」



◇出品規定・第四部の新設

従来の公募部門・第一部（漢字）、第二部（仮名）、第三部（少字数）の他に、第四部（自由書）が新設され四部門制に変わりました。第四部は、漢字仮名交じり文、前衛書など、一・二・三部に属さないものが対象となります。

◇審査員（本会関係者）

《特別賞（同人推挙）選考委員》

中村素岳  
赤平泰処

《公募作品審査》

（第一部）

加地香泉  
酒井芳華  
中村青藍

（第三部）

飯野柳袖

（第四部）

赤平泰処

◇東方書道院役員・各部委員（本会関係者）

〈顧問〉 中村素岳

〈副理事長〉 赤平泰処

〈理事〉 中村青藍

〈監事〉 根本泰邱

〈評議員〉 奥山泰嶺 中村汀華

〈事務局次長〉 今井泰篁

〈庶務部〉 飯野柳袖 高木素近

〈会計部〉 高橋珠翠

〈書記部〉 中村香柯

〈褒賞部〉 加地香泉

〈審査部〉

第一部 ○中村汀華 後上菁華

根本泰邱

鈴木蓮徑

第四部 大塚澄心

〈搬出入部〉

〈陳列部〉 ○奥山泰嶺 ○杉戸泰岳

秋田谷岱空 飯野彩心

光田秀穂

◎主任 ○副主任

# 第52回 貞香書展

6月28日～7月10日  
国立新美術館

## 第52回貞香書展審査所感

奥山泰嶺

平成19年、第42回貞香書展より六本木の国立新美術館で開催されてから今年で11年目となる。運営に携わる実行委員の諸先生のご準備と会員の皆様のご協力により無事開催することが出来た。

第52回貞香書展の総出品点数は293点。出品点数の内訳は役員・審査会員から72点、審査対象となる会員27点(内、新昇格者3点)、委嘱52点(内、新昇格者14点)、会友27点、公募第1部42点、公募第2部73点となった。昨年の第51回展からマイナス4点ということになり、手元資料の5年前と比べるとマイナス29点となり年々減少傾向になる。

数年前から、複数部門への出品や、高校生枠を設けたりと新しい出品数を増やす為の改革が行われているが、現在の出品者に継続出品していただくことも含めた具体的な方策の検討が必要である。

審査は6月18日(日)、国立新美術館地下1階審査室にて午前9時50分より公募1部2部合同での打ち合わせ全体会議の後、各部ごとに別室に分かれて鑑別を開始した。鑑別では挙手により選考し、その後投票により審査が行われた。同点の場合は挙手により再度審査を行い上位より入賞作品が決められた。午後からは特別賞・審査会員推挙、推薦の選考が行われ、特別賞1点は本年特別審査員、また講演会講師である出光美術館学芸課長の笠嶋忠幸先生にご選考いただいた(入賞者は次頁に掲載)。選考された作品には、全体の構成、流れのスムーズさ、力強さ、安定感等があげられる。高校生からの入賞があったのも喜ばしかったことであり、さらに今後の活躍の願いを込めての「高校生奨励賞」も贈られた。

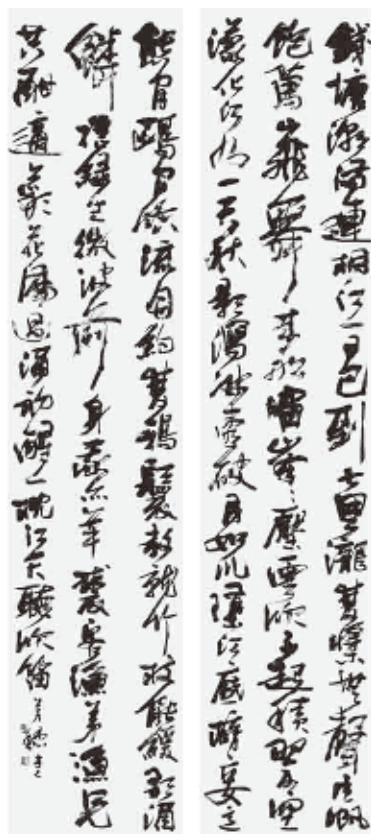
来年の第53回展では更なる皆様の作品力で展覧会を盛り上げていただきたい。ご出品の程宜しくお願い申し上げます。

## 第52回貞香書展(優秀作品)

特別賞・審査会員推挙 上野 泰 僊



特別賞・審査会員推挙 岩崎 芳 穂



奥山泰嶺先生 (本年度公募1部審査長)



# 第52回 貞香書展受賞者

特別賞・審査会員推挙 上野泰僊 岩崎芳穂

推薦 横張瑞泉 小野 優 上坂木蘭

近藤朗詠 藤井泉桜

## 公募1部

### 特選

漢字多字数部門 宮田奈摘 越川淑泉 鈴木葉香

漢字少字数部門 大堀谿光

仮名部門 伊丹さつき

### 準特選

漢字多字数部門 今野沙穂 中島恭子 佐藤史帆 青木照美

漢字少字数部門 新井由香 橋本和奏 西館汀舟

仮名部門 岩館紅楓 川本桃子

今井文子

### 秀作

漢字多字数部門 根布谷順子 成田美和子 中川秀雲 柿沼陽和

藤沼芳碧 大島京子 藤原優子 関根熙雲

大芦卿雲 小堀竹栖 峯岸悦子 杉山貞馨

根本柏暢 川端正廣 松本芳琇 成田素旭

山口珠奈 杉山桃月

志太恵佳 川原幽香

鈴木柏琴

### 高校生奨励賞

漢字多字数部門 猪瀬 楓

漢字少字数部門 大海知磨 大島 恋 山中里沙

### 公募2部

#### 特選

漢字多字数部門 邊見順子 大木秀佳 根本江南

漢字少字数部門 吉田堂胤 壺井尚子

### 準特選

漢字多字数部門 小林如雪 松島翠柳

漢字少字数部門 亀田恵子 村山順子 吉岡紀子

前川清翠 永井佑季 浅海翔太

田口和美 川口康子 萩原柊花

榎本良子 中山康平 雜賀誠芳

漢字少字数部門 長畑美成 田中峰堂 田杭聡子

漢字少字数部門 田村美佐子 永井 雅 長沼昭子

佐藤玄風 深谷節子 中上和美

長畑裕子 浅野照雄 鶴見侑樹

水沼美明 進藤 舞 牛村ひろみ 前原英子

若生瑞峰 伊藤泉映

井出映泉 大竹芳樹

仮名部門 北畠妃恵 傳田桃子

漢字少字数部門

漢字少字数部門

漢字少字数部門

### ◎昇格者

第52回貞香書展受賞に伴い、本会の規定において、次回展より次の方が昇格になります。おめでとうございます。

#### 〔審査会員推挙〕

上野泰僊 岩崎芳穂

#### 〔会員昇格〕

横張瑞泉 小野 優 上坂木蘭 近藤朗詠

藤井泉桜

#### 〔委嘱昇格〕

大島京子 大堀谿光 川端正廣 越川淑泉

鈴木葉香 関根熙雲 西館汀舟 根本柏暢

#### 〔会友昇格〕

青木照美 井出映泉 雜賀誠芳 飛田静風

藤沼芳碧

## 第52回 貞香書展

## 《ダイジェスト》

貞香会は従来の同人制から、審査会  
員、会員、委嘱、会友などの呼称にあ  
らため、また高校生奨励賞を創設し、  
若い人たちの参加を促すなど、種々の  
機構改革を押し進めて来た。こうした  
改革が今後の貞香会の発展にどのよう  
に結びついていくか、期待される。

6月18日に公募一部・二部、会員、委  
嘱の審査が行われた。今年は特別審査  
員として、出光美術館学芸課長の笠嶋  
忠幸先生をお招きし、特別賞・審査会  
員推挙の一点を選出していただいた。

7月1日には館内研修室にて授賞式  
がとり行われ、多数の受賞者でにぎわ  
った。また、式後に会長の赤平泰処先  
生が受賞作品の解説を、5日には顧問  
の荒木大樹先生が役員の作品の解説を  
行った。5日の午前11時より館内講堂  
において、笠嶋先生による「古典鑑賞  
と書作」と題する講演があり、多くの  
聴講者が熱心に聞き入った。

また、同日3時より、小峰紀州、今  
井泰篁、中村素岳各先生による席上揮  
毫会が開かれ、見学者が多数つめかけ  
た。



笠嶋忠幸先生による講演



授賞式にて 特別賞上野泰僊さん(右)と赤平会長



作品解説の荒木大樹先生



作品解説の赤平泰処先生



席上揮毫の中村素岳先生



席上揮毫の今井泰篁先生



席上揮毫の小峰紀州先生



## 第52回 貞香書展

### 《ダイジェスト》

#### ◎外部審査員による特別賞の審査・選考を実施

第52回貞香書展は、外部審査員に出光美術館 学芸課長の笠嶋忠幸先生に特別賞・審査会員推挙の審査・選考を依頼し、今年には上野泰僊さんの作品が選ばれた。



笠嶋忠幸先生による審査風景



特別賞選考作品の解説（笠嶋先生）

#### ◎第52回貞香書展より会員資格の名称変更、高校生奨励賞新設

平成29年度総会で決定した改革事項により、第52回貞香書展から、左記の通り、会員資格の名称が変更された。また、高校生奨励賞が新設され、高校生の益々の活躍が期待される。

〈旧名称〉 〈新名称〉

名誉同人 ↓ 名誉会員

同人 ↓ 審査会員

準同人 ↓ 会員

鑑別会員 ↓ 委嘱

#### ◎授賞式を開催

7月1日（土）午後2時～3時、国立新美術館の3階研修室にて、授賞式を開催した。高校生から一般の方まで受賞者が多数出席し、赤平泰処会長、中村青藍理事長からそれぞれ賞状を授与され、今年特別に受賞者全員、会長・理事長と記念撮影をした。また、本年より高校生奨励賞が新設され、授賞した高校生と保護者の方々とも、喜びに満ち溢れていた。

#### ◎講演会を開催

7月5日（水）午前11時～12時半、国立新美術館講堂にて、笠嶋忠幸先生（出光美術館 学芸課長）に「古典鑑賞と書作」の演題で講演を賜った。受講者多数で講堂は満員となり、充実した講演会となった。

#### ◎作品解説を開催

7月1日（土）午後3時～4時、赤平泰処会長による受賞作品の解説を、7月5日（水）午後2時～3時、荒木大樹顧問による作品解説を展示場内で実施した。作品を前に、楽しく会員の方々に解説をされていた。

#### ◎席上揮毫を開催

国立新美術館講堂にて、7月5日（水）午後3時～4時半、中村素岳顧問、小峰紀州理事、今井泰篁理事による席上揮毫を開催、多数の観客の前で見応えのある作品を揮毫された。

#### ◎懇親会を開催

銀座・サンミ高松において、7月1日（土）午後5時より祝賀会を開催。西村修一様（毎日書道会専務理事）、マスコミ各社の方々など多数ご出席され、にぎやかに懇親会が行われ、大いに盛り上がった。

# 第69回 毎日書道展

7月12日～8月6日  
国立新美術館  
7月16日～23日  
東京都美術館

## 第六十九回 毎日書道展審査を終えて

荒木大樹

○鑑別 五月二十五日・二十六日：いわゆる公募作品の入選・落選の決定。

漢字I類出品数U23が二四六点、公募は三六七点を二日間で審査員二十五名の挙手（良いと思う作品に○のカードを挙げる）で各作品に得点が入る。故に最高二十五点から零点まで様々。一回の鑑別時間は二十分で作品は二百点から二百四十点くらい出てくる。一点の作品にかかる所要時間は五から六秒。審査員は一瞬にして判定を下す。高得点を挙げた作品のおおよその傾向は三行書きで、いわゆる字間を詰め、行間を空けた作品が現代的風潮と言われている。ただしそんな単純な表現では言い表せない大事な所は、空間の取り方・空間の処理の仕方であると感じた。ここが貞香会の作品には甘さがみられたと思う。

○審査 六月三十日：入選作品に得点が入り入賞・入選の決定。

U23の七一点と会友・高位入選作の二二五九点を審査。いずれも長年の錬磨を経た作品群で、鑑別とは違った緊張感がある。行書作品だと独自の感覚で表現した作品、隷書作品も現代的感覚を取り入れた作品に点が入った。貞香会作品も頑張ったが錬磨が今一步及ばない作品もあり残念であった。来年以降の課題だと思ふ。

○誤字・脱字

特に入賞作品はかなり厳しくチェックされる。他社中で誤字を指摘された作品があり、賞のランクが下げられた。自分でチェックすることが基本。他山の石としたいところ。

○いい作品の鑑賞をしつかり

自分の作品を反省しているだけでは成長しない。とにかく展覧会で自分の書きたいようないい作品を探す。自分と何が違うのか何回も鑑賞して勉強しよう。息の長い勉強を祈ります。

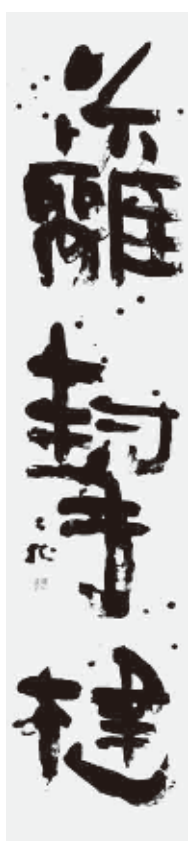
来年は七十回の記念展。また心を新たにして挑戦してみよう。

### 第69回 毎日書道展 (優秀作品)

毎日賞 富田青軒



本年度当番審査員 (漢字部I類) 荒木大樹先生





第69回 毎日書道展 当会役員・入賞・入選者

【漢字部入賞者】

☆毎日賞

富田 青軒

☆秀作賞

秋田谷岱空

☆佳作賞

飯野 柳袖

☆U23奨励賞

宮田 奈摘

酒井 芳華

加地 香泉

亀和田郁芳

川島 栖園

伊藤 朱楊

◎昇格者

第69回毎日書道展受賞に伴い、毎日書道会の規定において、次の方が昇格されました。  
おめでとうございます。

○審査会員出品者

荒木 大樹

赤平 泰処

鈴木 蓮徑

中村 香柯

中村 青藍

中村 素岳

○会員出品者

飯野 彩心

五野 雪香

今井 泰篁

海野 蒼秀

大野 宜白

大屋 泰穹

○会友出品者

飯野 彩心

加茂 泰玄

後上 菁華

杉戸 泰岳

高橋 珠翠

田中 泰崑

○秋田谷岱空

上原 東琴

海野 杏徑

江原 覺堂

海老原 綵翎

大塚 澄心

沖 素宮

○小澤 茜逕

恩田 澄光

☆加地 香泉

☆亀和田郁芳

☆川島 栖園

川嶋 芳岳

○倉石 芳園

小竹 布美

☆酒井 芳華

佐藤 泰石

清水 天悠

下川 翠雨

○鈴木 芳草

鈴木 玲香

高木 素近

立花 香琳

角田 清蓮

☆富田 青軒

○外山 翠光

永井 静軒

中田 翠苑

浜瀬 碧水

林 澄翠

樋口 泰仙

○二木 秀蔭

細田 香瑤

光田 秀穂

矢口 昌華

和 芳華

渡辺 蒼秀

○青木 照美

阿部 匠

市川 賀雪

☆伊藤 朱楊

稲田 祥英

江藤 啓子

○大芦 卿雲

大石 碧堂

大島 京子

小野 優

北井 杏怜

北村 亨弘

○草間 篁山

栗原 汀逕

近藤 朗詠

篠原 翠峰

杉山 桃月

鈴木 英男

○関口 恵子

関根 熙雲

高橋 久美子

西館 柳瑛

武内 陽華

津田 雅代

○津村 佳園

長尾 貫清

中東 敬子

藤沼 芳碧

橋本 竹泉

橋本 和奏

○彦田 翠香

平澤 大廣

藤沼 泉桜

保坂 登志

松本 和奏

松本 和奏

○森 梅蓉

渡辺 桃舟

森川 映花

横張 瑞泉

吉田 和蓉

世継 仁美

○漢字部Ⅰ類U23入選者

川島 栖園

新井 由香

伊藤 ゆうか

柿沼 陽和

☆宮田 奈摘

○漢字部Ⅱ類U23入選者

浦野 芽衣

伊藤 ゆうか

柿沼 陽和

小山 綾香

☆宮田 奈摘

○かな部会友

真下 良祐

伊藤 ゆうか

柿沼 陽和

小山 綾香

☆宮田 奈摘

○かな部入選

及川 佩玉

伊藤 ゆうか

柿沼 陽和

小山 綾香

☆宮田 奈摘

(☆印は入賞者)

※会員昇格された先生方は、アートサロン毎日にて開催される「2018年毎日書道展新会員作家展」において、第1期(平成30年3月5日)から3月10日(土)に秋田谷岱空先生が、第2期(平成30年3月12日)から3月17日(土)に川島栖園先生が、出品します。

〔会員昇格〕  
秋田谷 岱空  
川島 栖園  
〔会友昇格〕  
平澤 大廣

## 第69回 毎日書道展

### 《ダイジェスト》

#### ◎ 毎日書道展 審査会員―栃木の会書展の開催

栃木県の毎日書道展審査会員による栃木展は、平成29年度は第13回展を平成29年8月26日(土)～28日(月)まで栃木県総合文化センターで開催。貞香会より、参与の松本宜響先生と理事の鈴木蓮徑先生が出品された。総勢15名の出品者の作品群は、漢字・詩文書・大字書・仮名・刻字・篆刻とバラエティにとび、一人5メートルの展示幅に2点ないし3点の見応えのある作品が展示された。



松本宜響先生出品作品



鈴木蓮徑先生出品作品

※2018年開催の毎日書道展についてご案内します。

#### 【第70回記念毎日書道展】 (平成30年開催・東京展)

##### ◇会期 「国立新美術館」

前期展Ⅰ期 7月11日(水)～16日(月)  
前期展Ⅱ期 7月18日(水)～23日(月)  
後期展Ⅰ期 7月25日(水)～30日(月)  
後期展Ⅱ期 8月1日(水)～5日(月)

##### ◇会期 「東京都美術館」

7月19日(木)～25日(水)

##### ◇公募受付・搬入日

5月14日(月)・15日(火) (正午～午後4時・毎日ホール)  
・会友・公募(会友公募含む)・U23出品票、出品料等  
・公募・会友公募・U23の未表装作品

##### ◇特別展示 『墨魂の昂―近代書道の人々』

明治期から終戦期までの文人、政治家はじめ活躍した書家など約65人の作品を展示予定。

主な作品は、西郷隆盛、副島種臣、大久保利通、伊藤博文、犬養木堂はじめ三輪田米山や日下部鳴鶴、西川春洞、比田井天来、吉田苞竹、尾上柴舟等。

##### ◇出品資格引き下げ

公募出品資格を従来の18歳以上を16歳以上に引き下げ

##### ◇褒章の増加

過去の記念展を参考に、会員賞や毎日賞など各賞の受賞数各10%増加

##### ◇役員の就任(本会関係者)

陳列部長 赤平泰処  
漢字部運営委員 中村素岳  
漢字部I類審査員 松本宜響



## 洗碑会

五月二日は、中村素堂先生のお誕生日。ここ数年、雨が降り出しそうな天候にあたることが多かったが、今年は皐月晴れですがすがしい。小石川傳通院に、夕刻より素堂先生のご親族、弟子、孫弟子、大正大学書道研究部の学生など縁由の方々が集う。

今年も、素堂先生の御嬢様の笠松治子様と島田恭子様（ゆき）がご参列くださった。毎年欠かさずお出ましくくださる西本義顕先生もお見えになり、今年も西本先生の同級生で、真言宗智山派の近藤正晴先生もご出席くださった。昭和二十七年から素堂先生におつきになり書道の手ほどきはもちろんのこと、素堂先生と一緒に歌の会にも参加されていたという。素堂先生との思い出話をいろいろと伺っていると、あつという間に定刻の四時半になり開会。

今井泰稟理事の司会進行で、洗碑会が始まった。まずは貞香会代表として荒木大樹顧問が挨拶され、親族のご紹介、代表者による記念碑「如是我聞」のプレートが浄められた。続いて参列者一同で、菩薩願行文、般若心経をお称えし、滞りなく洗碑の儀が終わった。最後に、恒例の集合写真を記念碑の前で行う。一年が早いなあと、しみじみ感じ入った。記念碑が建ったのは、平成七年。もう二十二年が経過した。建立当時は、碑が黒々しく輝き、

周りの樹々も若かった。このごろは、紅葉の樹が碑をやさしく包むように生い茂り、落ち着いた黒鉛色の碑と一体となっている。秋は、赤く色づく紅葉が記念碑を一層引き立ててくれるという。

素堂先生は一九〇一年生まれ。今日は、満百十六歳の御祝の日である。来年もまた記念碑と会面するのが楽しみである。

（飯野彩心記）



碑を清める



読経



## 錬成会

平成29年2月26日(日)、春の陽気を感じる穏やかな気候の中、南浦和・鷺毛堂の錬成会場において、毎日書道展、貞香書展に向けた錬成会を行なった。

午前9時開場であったが、参加者のほとんどが9時前に到着し、講師の先生方が来られるのを心待ちしながら準備し、早々と皆さん書き始めていた。

講師の中村素岳先生と赤平泰処先生も、時刻通りに到着され、根本泰邱事務局長の挨拶で開校式が行われた。さっそく講師の先生方にお手本の依頼をお願いする列ができ、講師の先生方の筆使いを間近で見、また一人一人細かなアドバイスを直に受けられた。

今年は、30名が参加、更に作品のみの参加も加わり、百畳敷きの会場



は作品で埋め尽くされた。この広い会場で思う存分書けるというのは、とても充実感がある。「百錬剛を成す」の境地で、8時間の錬成時間があつという間に過ぎた。もっと書きたいと思いつつも皆さん片付けをして、錬成会場を後にした。

続いて、4月8日(土)・9日(日)に会場を移して錬成合宿がありました。来年も更に多くの方々に参加され、ご健筆くださることを念じ申し上げます。  
(飯野彩心記)



## 錬成合宿

平成29年4月8日(土)・9日(日)に一泊二日の日程で毎日展・貞香書展に向けた錬成会を開催した。初めての会場である東京スポーツ文化館にて行われた。公共の施設ということで、とても人気の場所であり、柔道・剣道・ダンスなどでもできるような所なので、日中は賑やかだったが、参加された三十人の皆さんは真剣な表情で筆を運び、講師の先生



に添削・批評を頂くなど、有意義な2日間であった。

初日に中村素岳先生・赤平泰処先生、2日目には赤平泰処先生・今年度毎日展審査員の荒木大樹先生が講師としてご出席下さり、熱心にご指導を頂いた。

2日目の3時から、毎日展の出品作品を審査員の荒木先生に目通しして頂くための合

評会が行われた。赤平泰処先生・中村青藍先生もご一緒にご批評下さった。作品点数は100点近く集まり、一点一点誤字など細かくご指摘下さり、長時間に渡りご批評いただいた。参加した会員の皆さんは充実した表情で、締め切りまでの間、作品制作にかける意気込みを感じた。

(鈴木蓮徑記)



# 〈平成二十九年年度事業報告〉

## 主な展覧会

### ○'17 貞香会総合書展

会期…平成29年1月19日(木)～24日(火)  
 会場…上野・東京都美術館  
 席上揮毫…1月21日(土) 10時～11時 展覧会場内  
 作品解説…1月21日(土) 13時～ 展覧会場内  
 授賞式…1月22日(日) 教育部11時～一般部13時～ 展示会場内  
 懇親会…1月22日(日) 17時～ 美術館内 アイポリー

### ○第52回貞香書展

会期…平成29年6月28日(水)～7月10日(月)  
 会場…六本木・国立新美術館3A  
 授賞式…7月1日(土) 14時～15時 美術館内研修室  
 作品解説…7月1日(水) 15時～16時 展覧会場内  
 懇親会…7月1日(土) 17時開宴 サンミ高松 銀座7丁目店  
 講演会…7月5日(水) 11時～12時30分 美術館内講堂  
 講師…笠嶋忠幸先生(公益社団法人出光美術館 学芸課長)  
 演題…「古典鑑賞と書作」  
 作品解説…7月5日(水) 14時～15時 展覧会場内  
 席上揮毫…7月5日(水) 15時～16時30分 美術館内講堂

### ○第69回毎日書道展 東京展

会場…国立新美術館  
 会期…平成29年7月12日(水)～8月6日(日)  
 会場…東京都美術館  
 会期…平成29年7月16日(日)～7月23日(日)

## 洗碑会

日時…平成29年5月2日(火) 午後4時～ 受付  
 午後4時半～ 洗碑会  
 会場…文京区小石川・伝通院

## 錬成会

### ○錬成会

日程…平成29年2月26日(日) 9時～17時  
 会場…鷺毛堂錬成会場・さいたま市南区文蔵4・27・3  
 内容…毎日書道展・貞香書展に向けての作品制作

### ○錬成合宿

日程…平成29年4月8日(土)～9日(日) 9時～17時  
 会場…BumB東京スポーツ文化館・江東区夢の島2・1・3  
 内容…毎日書道展・貞香書展に向けての作品制作および下見会

## 貞香会後援の展覧会

### ○岩田映洞書展

会期…平成29年5月17日(水)～21日(日)  
 会場…カルタス杉戸

### ○第31回西蓮会書展

会期…平成29年10月14日(金)～18日(火)  
 会場…銀座・かねまつホール5階

### ○第48回墨光書展

会期…平成29年10月11日(水)～15日(日)  
 会場…春日部市民文化会館

### ○第11回和墨書道展

会期…平成29年10月19日(木)～22日(日)  
 会場…香取市佐原中央公民館

### ○松本宜響書展―花蔵院梵字曼荼羅と相縁の書―

会期…平成29年11月23日(木・祝)～27日(月)  
 会場…花蔵院

### ○坪内雪山書展

会期…平成29年12月1日(金)～28日(木)  
 会場…長岡市 北越銀行関原支店

※この他、貞香会会員が活躍する展覧会の情報は、貞香会ホームページのインフォメーションにて掲載しています。詳しくは、そちらをご覧ください。



## 〈平成三十年度行事予定〉

### 主な展覧会

#### ○'18 貞香会総合書展

会期：平成30年1月20日(土)～26日(金)

会場：上野・東京都美術館

席上揮毫：1月20日(土) 10時～11時 展覧会場内

作品解説：1月20日(土) 13時～14時 展覧会場内

授賞式：1月21日(日) 教育部11時～一般部13時 展示会場内

懇親会：1月21日(日) 17時～ 美術館内レストラン『サロン』

#### ○第60回記念東方書展

会期：平成30年3月25日(日)～3月31日(土)

会場：上野・東京都美術館

☆特別展示 東方書道院「先達の書」

授賞式：3月25日(日) 14時～ 帝国ホテル「孔雀の間」

特別講演会：3月25日(日) 16時～ 帝国ホテル「孔雀の間」

講師：田宮文平先生 (美術評論家)

演題：東方創設の理念と先達の書

—第60回記念によせて—

祝賀懇親会：3月25日(日) 17時30分開宴 帝国ホテル「孔雀の間」

東方書道院ホームページ [www://tohoshodouin.com](http://www.tohoshodouin.com)

#### ○第53回貞香書展

会期：平成30年6月27日(水)～7月9日(月)

会場：六本木・国立新美術館3A

講演会：6月30日(土) 11時～12時30分 美術館内講堂

講師：高橋利郎先生(大東文化大学教授)

演題：「近代日本の書」

授賞式：6月30日(土) 14時～ 美術館内講堂

作品解説：6月30日(土) 15時～ 展覧会場内

懇親会：6月30日(土) 16時開宴 美術館内講堂

席上揮毫

作品解説 ※後日お知らせします。

#### ○第70回記念毎日書道展 東京展

会場：国立新美術館

会期：平成30年7月11日(水)～8月5日(日)

☆特別展示「墨魂の昂・近代書道の人々」

会場：東京都美術館

会期：平成30年7月19日(木)～7月25日(水)

表賞式・祝賀会：7月22日(日) 13時～

ザ・プリンスタワー東京

※各地方展、巡回展については、毎日書道会のホームページをご覧ください。

毎日書道会ホームページ <http://www.mainichishodo.org>

※貞香会主催〈東方書展・毎日書道展入賞・入選者のこと〉  
7月22日(日) 17時～浜松町周辺で開催

## 〔平成三十年度行事予定〕

### 洗碑会

日時：平成30年5月2日（水） 午後4時～ 受付  
午後4時半～ 洗碑会  
会場：文京区小石川・伝通院

### 錬成会

#### ○錬成成会

日程：平成30年2月18日（日） 9時～17時  
会場：鷺毛堂錬成会場・さいたま市南区文蔵4・27・3  
内容：毎日書道展・貞香書展に向けての作品制作

#### ○錬成合宿

日程：平成30年4月7日（土）～8日（日） 9時～17時  
会場：BumB東京スポーツ文化館・江東区夢の島2・1・3  
内容：毎日書道展・貞香書展に向けての作品制作および下見会

### 貞香会後援の展覧会

#### ○荒木大樹書展

会期：平成30年5月29日（火）～6月3日（日）  
会場：銀座鳩居堂画廊3階

#### ○光谷素仙書展―古希記念展―

会期：平成30年10月2日（火）～7日（日）  
会場：東京銀座画廊7階

#### ○第32回西蓮会書展

会期：平成30年10月12日（金）～16日（火）  
会場：銀座・かねまつホール5階

#### ○第49回墨光書展

会期：平成30年10月17日（水）～21日（日）  
会場：春日部市民文化会館

#### ○第2回素心会書展

会期：平成30年10月23日（火）～28日（日）  
会場：東京銀座画廊8階・C室

#### ○第12回和墨書道展

会期：平成30年秋 予定  
会場：香取市佐原中央公民館

※この他、貞香会会員が活躍する展覧会の情報は、貞香会ホームページのインフォメーションにて掲載しています。詳しくは、そちらをご覧ください。

## 〈事務局だより〉

### ◇年会費について

- ◎平成30年度の年会費は、5月31日（木）までにご納入をお願いします。
- ◎平成29年度以前の年会費が未納の方は、お早めにお振込みをお願いします。

### ◇錬成合宿について

- 一泊二日の錬成合宿を行います。詳しくは、22ページの平成三十年度行事予定をご覧ください。
  - ※なお、錬成合宿の申込みについては、メールまたはFAX等書面にて、左記の事項をご記入の上お申し込みください。
  - ①氏名 ②住所 ③連絡先電話番号（携帯） ④会派
  - ⑤宿泊無し（日帰り参加）4月7日・8日どちらか  
宿泊有り（1泊2日 4月7日夕食／8日朝食・昼食付）
  - ⑥その他の希望
  - ・申込締切日…平成30年3月31日（土）
  - ・申込方法…FAX0470（47）4696 ※表紙なし
  - Eメール itokuni137@gmail.com
  - ・申込宛…根本泰郎（事務局長）
- （注）下敷をお忘れなく持参してください。  
本年度は、下敷を準備していただく業者さんをお願いしていません。  
会員皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

### ◇第53回貞香書展の出品規定について

#### ○出品資格

- ※第52回貞香書展より、役員（旧…名誉同人、同人、準同人、鑑別会員）の名称が変更になりました。
- ・会員出品資格は、貞香会の会員（名誉会員、審査会員、会員、委嘱、会友）資格を有する者
- ・公募出品資格は、年齢満15歳（高校生）以上の方なら誰でも第1部、第2部のどちらかに出品できます。

#### ○褒賞

- ・特別賞（受賞者は審査会員に推挙）
- ・推薦（受賞者は会員に推挙）
- ・特選、準特選、秀作、高校生奨励賞、入選

#### ○昇格規定

- ・第1部出品者、特選16点、準特選8点、秀作4点、高校生奨励賞・入選2点が付与されます。
  - ・第2部出品者、入賞（特選、準特選、秀作）2点、高校生奨励賞・入選1点が付与されます。
- ☆持点履歴、30点以上を得た方は、記名手続きを経て本会の「委嘱」に昇格できます。
- 15点以上得た方は、本人の承諾をもって「会友」に昇格できます。

#### ○第53回貞香書展の作品締切

- 平成30年度は、5月18日（金）までに各表具店に作品を搬入してください。締切厳守をお願いします。

## 〈事務局だより〉

### ◇住所変更について

住所・連絡先など変更がある方は、貞香会事務所までFAXまたはハガキなどの書面にてお知らせください。

### ◇会員の方の関係書道展について

会員の皆さんが活躍する書道展や催しものなどの情報を、貞香会事務所までお寄せください。展覧会の案内ハガキなど詳細をご郵送またはメールにて添付いただければ、貞香会ホームページのインフォメーションに掲載いたします。

### ◇ご意見・ご要望など

貞香会に関連する展覧会や行事などで、会員の皆さまよりご意見・ご要望などありましたら、貞香会事務所まで書面にてお寄せください。

### 【編集後記】

＊今年度も多くの貞香会の事業にご参加いただきありがとうございます。

＊貞香会会報7号をお届けいたします。会員皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

〈泰邸〉

＊二〇一七年は、東京都美術館で開催された「TOKYO書一公募展の今」展の最後の年であった。5年間にわたって開催されたこの書展は、毎年好評を博した。担当された貞香会の先生方、お疲れまでした。

今後は、新たな企画展となつて開催されると、この書展の担当である出光美術館・学芸課長の笠嶋忠幸先生がおっしゃっていた。今後が楽しみである。

そして、二〇一七年の第52回貞香書展でも、笠嶋先生に審査から講演会・作品解説とお世話になり、充実した展覧会となった。

また二〇一七年から、高校生奨励賞が新設され、授賞式に出席した高校生の表情がとても生き生きとして、印象的だった。

今後も魅力ある書道展を目指して、がんばりましょう！

〈彩心〉

◆表紙・中村素堂先生作品より

平成二十九年(二〇一七年)

会報(第七号)

発行日 平成三十年三月十二日(月)

編集・発行 貞香会

東京都江東区新大橋一五四―二一  
根本方

電話〇三(六二八四)〇四六六

印刷・製本 富寿印刷

東京都文京区大塚三三六―九  
電話〇三(三九四四)一一四一

